

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成25年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	結氷河川における晶氷の発生予測と取水障害対策の開発	北見工業大学 吉川 泰弘	a	結氷河川における晶氷の現象把握から解決すべき課題の抽出がされるなど、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	結氷河川における晶氷の発生・流下のプロセスを解明し、晶氷の発生予測技術の開発と取水障害対策の提案を目的とする。			
テーマ	流域地質構造が河川景観に及ぼす影響の解明とそれを踏まえた河道設計・管理手法の構築	名古屋大学 田代 喬	a	流域地質構造について有用な知見が得られるなど、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	流域地質構造と河川景観の間の因果関係を整理し、その生態的機能の支持機構を踏まえた実効的な河道設計・管理技術の開発を目指す。			
テーマ	濃尾平野における水資源総合管理のための地下水涵養機能評価モデルに関する研究	岐阜大学 神谷 浩二	b	森林データの収集は進んでいるが、地下水涵養機能の評価するモデルを構築するための道筋を明らかにすることに留意しながら、現行計画のとおり進捗することが妥当と評価する。
概要	濃尾平野における今後の適正な地下水管理に貢献するため、森林や河川による地下水涵養機能の実態を究明して、それを評価・表現する解析モデルの開発を行う。			
テーマ	土器川流域における気候変動に適応した強靱な社会づくりDCP(地域継続計画)評価分析システムの開発と実践	香川大学 磯打 千雅子	a	水害を対象としたDCPを研究することで、新たな知見が得られており、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	超過洪水時における地域インパクト分析(DIA)システムを開発、重要業務・社会的許容限界をふまえた地域継続戦略を策定し、代替手段と早期復旧手段の洗い出しによる流域住民を中心としたDCPプランニングに資する。			
テーマ	河川感潮域におけるガタ土堆積抑制と適正な植生管理に向けた実証実験	佐賀大学 山西 博幸	a	現地実験や精緻な観測から河道におけるトレンチの役割や効果について有用な知見が得られるなど、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	ガタ土堆積とヨシ生長制御を備えた新たな河川工作物の提案とその実証実験を通して、河道管理と河川環境の保全を目指す。			

評価の凡例

a:非常に優れた研究である。

b:優れた研究である。

c:条件付きで評価できる(研究計画の変更、研究費の滞

d:次年度の研究継続は認められない(研究の打ち切り